

光星学院60周年を記念したモニュメント。制作者の北郷悟さんが生徒らに込めた思いを語った



記念モニュメント除幕

光星学院法人設立60周年

八戸

できている。

八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)

は14日、法人創設60周年を記念し、同市湊高台の八戸学院光星高中庭で記念モニュメントの除幕式を行った。新たなシンボルとなる凛とした像が姿を現し、関係者が一層の発展を誓った。

モニュメントは東京芸術大の北郷悟教授が制作。「生命の川 cosmos」というタイトルで、ブロンズとガラスで

除幕式に出席した北郷教授は、「地球の創生や勢いよく流れる川をイメージし、今生きているこの時の出会いや経験を大切にしてほしいとの願いを込めた。シンボルとして皆さんの心の支えになれば」と、生徒らにエールを送った。

八学光星高2年普通科の大内田桃果さんは「見ていると、さまざまな発想が生まれる。これからの学校生活を頑張りたい」と笑顔を見せた。

(田村祐子)